

松原・下釜ダム 洪水調節効果を発揮

足立敏之参院議員が視察

足立敏之参院議員は、
2020年7月豪雨で洪
水調節に大きな効果を発
揮した松原ダムⅡ写真Ⅱ



と下釜ダム（いずれも大
分県）を視察した。豪雨
発生時、松原・下釜ダム
が洪水を貯留したこと
により、筑後川水系の水位

を上げて洪水を貯留。上
流側の下釜ダムは満杯に
なったが、下流の松原ダ
ムが全ての流量を受け止
めた。

は1・2倍低下。
下流の日田市で
の洪水の発生を
防いだという。
松原・下釜ダ
ムは、13年間に
わたる「蜂の巣
城紛争」と呼ば
れた大規模な反
対運動を経て1
973年にそろ
って完成。7月
6～8日の豪雨
では、防災操作

筑後川水系では、20
17年の九州北部豪雨が
下流の日田市に鉄道橋の
落橋や大規模な土砂災害
による河道閉塞（へいそ
く）などの被害をもたら
している。現地を視察し
た足立氏は「完成以来、最
大級の流入量だったが、
二つのダムが連携して大
きな洪水調節効果を上
げ、下流の日田市を守る
ことができた」と松原・
下釜ダムの治水効果を強
調した。
足立氏は、17年の九州
北部豪雨で被害を受け、
国土交通省が権限代行で
復旧工事を行っている赤
谷川の現場も視察した。